

## 参考文献から見た雑誌評価の試み

松坂敦子

埼玉医科大学短期大学図書室

### 1. はじめに

看護学分野のコアジャーナルに関する先行研究は、諸氏によりなされているが、今回は参考文献（引用も含む）に記載された雑誌をリストアップし、ランキングを行うとともに論文数による雑誌のランキングを調査した。つまり、ある論文が同一雑誌を100件リストすると雑誌の総数でのランキングは上がるが、その雑誌が他の論文で使われているかどうかをみると雑誌の評価は変わってくる。1つの雑誌に対して、いくつの論文が利用したかを調査することで、雑誌の評価を試みることにした。

### 2. 対象

対象は、雑誌「看護研究」の第1巻（1968年）から第37巻（2004）とした。翻訳記事、外国人著者による欧文は調査対象から外した。その結果、調査対象記事数は、1,097論文となった。そのうち参考(引用)文献が記載されていたのは、877論文で調査対象の75%であった。参考(引用)文献記載論文のうち92%にあたる761論文が雑誌論文を記載していた。

### 3. 結果

記載されていた雑誌論文の総数は、11,202件で、外国誌4,159件、国内誌7,043件である。比率は、外国誌37%、国内誌63%となっている。雑誌総数は、外国誌842誌、国内誌963誌、合計で1,805誌であった。Vol.別に雑誌のタイトル数をみると、第23巻(1990年)までは、平均45誌であったのに対し、第24巻(1991年)以降は、平均234誌となっている。参考文献に記載された論文数も1990年以前は、Vol.平均127論文であるのに対し、1991年以降は、Vol.平均592論文、特に2000年以降は、Vol.平均719論文となっている。

記載された論文が多かった上位5誌は、1位「看護研究」814件、2位「Nursing Research」329件、3位「看護技術」284件、4位「日本看護科学会誌」279件、5位「看護学雑誌」208件である。

1つの雑誌に対していくつの論文が掲載をしたかでは、1位「看護研究」293論文、2位「Nursing Research」126論文、3位「日本看護科学会誌」103論文、4位「看護」99論文、5位「看護学雑誌」92論文という結果になった。記載された件数が多かった「看護技術」は、論文数は24論文であった。

また、「看護研究」の自誌参考文献記載率は、合計で7%、国内誌では12%である。

### 4. まとめ

今回の調査は1誌のみで分野が限られている。今後対象誌を広げ、相対的な評価を行うことで看護分野における雑誌の評価につながると考える。